

鈴鹿市制施行80周年記念・

鈴鹿市聴覚障害者協会創立55周年

「鈴鹿市」×「すずかDEAF」

手話言語条例啓発イベント



※「DEAF（デフ）」とは、日本語で「耳が聞こえない」という意味です。

「継承×挑戦」の80年 未来に向かって輝け鈴鹿！

- 主催 鈴鹿市聴覚障害者協会 ●協力 鈴鹿市手話サークルとちの実
- 後援 鈴鹿市、鈴鹿市教育委員会、社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会

ヒゲの校長

映画

Once upon a time in Osaka. for the Deaf with Sign Language 1914

2023年2月25日（土）
鈴鹿サーキットホテル MeetingRoom1

鈴鹿サーキットホテルのフロントロビー2階にございます（裏面地図参照）

午前の部 9:30～11:30 <受付・開場9:00～>

映画のみ ※午前の部終了後に完全入替

高校生以下500円・一般1,000円

午後の部 13:00～17:00 <受付・開場12:30～>

式典・映画・講演 [ヒゲの校長役 尾中友哉氏]

高校生以下1,500円・一般2,000円

※いずれも全席自由席、当日の飛び入り参加は不可



12月20日
から受付開始

- ・式典と講演に手話通訳とパソコン要約筆記が付きます。
- ・託児希望者はお申し込み時にご連絡ください（先着順5名／対象3歳～小学3年生）。
- ・コロナ感染状況により、中止となる場合があります。
- ・当日は受付時検温、マスク着用、手指消毒にご協力ください。

QRコード読取、Mail、
FAXで申し込みます。

仮受付後に振込先を
ご案内します。

入金確認後、正式に
先着順受付します。

受付番号付き受取票
を送ります。

当日の駐車場入口および会場の受付時に受付番号付き受取票が必要になりますので、紛失等ご注意ください。

※お申し込みいただいた個人情報は、今回の利用目的のみ使用し、第三者に提供することはありません。

お申し込み先・問い合わせ先

MailまたはFAXでお申し込みされる方は、お名前、ふりがな、ご住所(市町名のみ)、
連絡先、午前か午後、高校生以下か一般、枚数を明確にお願いします。

鈴鹿市聴覚障害者協会

Mail suzukadeaf@gmail.com FAX 059-372-3365



【映画について】

皆さんは、耳がきこえない人と話されたことはありますか。筆談、ジェスチャー、口元を見せてゆっくりはっきり話すなど、さまざまなコミュニケーション方法がありますが、その中で手話をメインにして話す人たち「ろう者」がいます。ろう者にとって**手話**はかけがえのない言葉です。

ろう・難聴の子どもたちが通う**ろう学校・聴覚支援学校**では、手話が使われてきたのだらう…そう、多くの方が思うでしょう。ところが、大正の終わり頃から最近までろう学校では手話は禁止・制限されてきました。「**口話法**」と言って発声し、相手の口の動きを読みとる方法が急速に広がり、口話法を進めるには手話は不要なものとされてしまったからです。きこえない子どもが訓練によって話せるようになる…、なんと素晴らしいことだろうと、ろう者のことを知らない人は思うかも知れません。

しかし、口話法を身につけさせるために、かつての口話訓練は、つい手話で話してしまう子どもは叩かれ、両手を縛られもした苛酷なものでした。おおっぴらに手話ができないろう者たちはずっと苦しみました。

そこに疑問をもち、個々の子どもに合わせて手話と口話を取り入れる教育を進めた学校がありました。この映画の舞台となる**大阪市立聾唖学校**です。

映画『ヒゲの校長』は、**校長 高橋 潔**を中心に教師たちがスクラムを組んで、手話を守り続けた実話をもとになっています。愛情と信念をもって子どもらに接した高橋と「チーム高橋」の教員たち、高橋に献身的に寄り添った家族…戦争にあけくれた困難な時代に、ろう者と共に生きた人々の物語です。

どうぞ、ご家族、お友だちとご一緒にお越しください。



高橋 潔

福島 彦次郎

高平 久雄

大曾 根源助

藤本 敏文

廣間 ひで

【昭和8年 大阪市立聾唖学校】～ 高橋校長ときこえない先生たち ～

【あらすじ】

大正3年仙台から大阪へ、青年高橋潔は、恩師の紹介状を持って大阪市立聾唖学校の門を叩いた。家の事情にて海外留学し音楽家を旨とする夢をあきらめ、失意にあった高橋。

そんな彼の前に現れたのは、家から追い出され、警官に連れられて来た正一君。耳がきこえず、会話できないもどかしさで暴れる正一君に、高橋は寄り添い、手話を覚え、彼と共に歩みだす…。手話やろう者のことを高橋先生に教えるきこえない先生たち…。

しかし、時代は大きく変わる。「口話法」という嵐が全国の聾学校に吹きまくり、口の動きを読み取り、発語できるようにするためには手話は禁止するべきと、ほとんどの学校が手話を抑えていった。

ろう者の言葉である手話がつぶされそうになっていく中、手話とろう者を守るべく、高橋校長と先生たちは一丸となって時代にあらがおうと立ち上がった…。

鈴鹿サーキットまでのアクセス

●公共交通機関利用

近鉄白子駅から三重交通の路線バスで約20分、大人410円/子ども・障がい者210円です。

●車利用

鈴鹿市稲生町7992

TEL: 059-378-1111

パーキングゲートより入庫いただき、受付番号付き受取票を掲示してください。



鈴鹿サーキットHPより引用

